

投資事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部 農林水産局農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (地域整備係長 中野光雄)	内線	3931 (3946)
--------------	---------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	中山間総合整備	事業名	事業区間	総事業費	5.4億円	
		中山間地域総合整備事業	篠山東部地区	内用地補償費	0.1億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市(旧篠山町・旧西紀町)				H19	H19	H23
事業目的			事業内容			
中山間地域の果たしている食料供給機能や保養休養など多面的機能を保全し、定住を促進するため、農業生産基盤・生活環境基盤の整備を早急に進めるとともに、地域住民の活性化への取り組みを支援する。 篠山市(旧篠山町、旧西紀町)：山村振興指定、特定農山村指定 事業主体:篠山市			農業生産基盤整備 農業用排水:L=1.8km 暗渠排水:A=2.9ha [国:55% 県12% 市8% 地元25%] 農村生活環境基盤整備(生活基盤) 集落道:L=0.6km [国:55% 県6% 市39% 地元0%] 獣害防止柵:L=80.0km [国:55% 県6% 市14% 地元25%]			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	篠山東部地区は中山間地域の生産基盤整備にいち早く取り組んできたが、老朽した用排水路の漏水や湧水による農地の湿地化のため、特産品である黒大豆等の生産量が低下し、品質悪化が生じている。また、過疎化が進むなかで獣害による農産物の被害が多発している。 そのため、用排水路、暗渠排水を整備することにより、特産品の生産拡大と品質向上を図る。また、集落道の整備により安全な生活環境を確保し、農産物の被害を軽減する獣害防止柵を整備する。					
(2)有効性・効率性	事業実施により、主に下記の効果が期待できる。 用排水施設、暗渠排水の整備により特産品の生産拡大や品質向上などの効果がある。 旧村単位で広域的・系統的に獣害防止柵を整備し、農産物被害を軽減する。防災対策として集落道の整備により、安全で快適な生活環境を確保する。当地区の費用便益比B/Cは1.60で、事業効果が十分期待できる。					
(3)環境適合性	山際の用排水路の整備で、土水路に生息するサワガニや底生生物、その他に配慮した生息空間を確保するため、一部に砂礫底・魚巣ブロックを設置する。					
(4)優先性	京都や大阪、神戸など大都市の多様な消費者ニーズに対し、農産物、特産品の生産拡大への取り組みにより農業振興を図るとともに、集落営農等の担い手の育成を推進していることから、老朽化した用排水路の整備、暗渠排水の整備を早急に実施する必要がある。また、鹿などの獣害により農家は生産意欲を減退させており、早急に獣害防止柵を設置する必要がある。					